

河川18 吉野川上流域の直轄砂防事業(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
高知218	高知県土木部砂防課・国土交通省四国山地砂防事務所編「砂防施設が効果を発揮した事例 '04早明浦豪雨」(高知県土木部砂防課・国土交通省四国山地砂防事務所、2004年)、3-6頁	地すべり対策工が効果を発揮(高知県大川村小松地区) 平成16年8月17日早明浦豪雨により、小松地区では、小崩落・法面崩壊が発生し家屋に被害をもたらした。しかし、地すべり性の変動はほとんど認められず、地すべりによる人的・家屋被害は発生しなかった。 昭和51年より実施している対策工(アンカー工・集水井工・横ボーリング工etc)が地すべり被害を抑制した。 イシガ谷堰堤が土石流を捕捉(高知県土佐郡土佐町) 平成16年8月17日台風15号豪雨により、上流域で崩壊が発生し、土石流となって流下したが砂防堰堤が土石流を捕捉し、下流の人家などへの被害を防いだ。 朝谷第2堰堤、朝谷山腹工(高知県土佐郡大川村) 砂防施設(朝谷第2堰堤、朝谷山腹工)が崩壊発生や土砂流出を軽減
四国38	建設省四国地方建設局吉野川砂防工事事務所編「砂防果てしなき闘いー吉野川の砂防事業ー」(建設省四国地方建設局吉野川砂防工事事務所、1991年)、11頁	土砂災害の防止に成果をあげる砂防施設 吉野川の直轄砂防区域では、土砂の生産・流出がおびただしい祖谷川流域、南小川・赤根川流域、そして吉野川上流域の各所にいろいろな種類の砂防施設を建設。支川からの土砂生産・流出を抑え、土石流から人々の暮らしを守り、さらに下流域の安全を確保するなど、多大な成果をあげています。